



みやまえ Miyamae

滑川町立宮前小学校 学校だより

3月号 令和4年2月28日

電話 0493-56-2204 FAX 0493-56-2065

150年よりも昔に。



宮前小学校と埋蔵文化財の資料



本校の校庭に復元されていた住居(昭和にあった)



大谷遺跡の出土品

上記の写真は、滑川町エコミュージアムセンターで開催された企画展「小学校と埋蔵文化財展」でのものです。本校の敷地やその周辺で発掘調査が実施された遺跡から出土した土器などの遺物や資料です。その資料から、本校と埋蔵文化財について一部をご紹介します。

「体育の授業や休み時間に使う校庭には大谷(おおやつ)遺跡という集落遺跡があります。約60年前の昭和41年(1966)8月に学校の校庭を広げるために発掘調査が行われました。発掘調査には、当時の小学生やPTAの保護者も参加し、弥生時代後期～古墳時代(約1800年前頃)にかけての住居(家)跡8軒や弥生土器、土師器などの土器(昔の食器等)が見つかりました。また、火事によって家が焼けてしまった跡も見つっています。

小学校の北側には、花気窯跡(はなきかまあと)と呼ばれる古墳時代の須恵器という土器を焼いて作っていた窯跡が見つっています。平成26年(2014)2月に発掘調査が行われました。古墳時代後期(約1400年前)の窯跡が1基と大量の須恵器が見つっています。

小学校南方には、寺谷(てらやつ)遺跡という集落遺跡があり、昭和36年(1961)に発掘調査が行われました。古墳時代後期の住居跡2軒や土師器が見つっています。」(資料抜粋)

本校は、開校150年を迎えます。このことも長い歴史を感じますが、1800年も前に、ここに人が住んでいたことがわかりました。なんとすごいことなのでしょう。1800年も前の人がどんな生活をしてたのか想像すると面白いですね。社会科の教科書に載っていたことが、「今、ここ」につながっている。

私たち自身も、今、長い歴史の中にいると思うとなんだか不思議な気持ちになります。

3月の行事予定

1日(火) 懇談会(2年・5年)
 2日(水) 懇談会(1年・6年) お話タイム
 3日(木) 懇談会(3年・4年) 読み聞かせ
 4日(金) 懇談会(ひまわり) 6年生を送る会
 8日(火) さわやか相談員(AM)
 9日(水) PTA常任委員会
 10日(木) 5時間授業 通学班編成会議 一斉下校
 16日(水) ふれあい弁当

21日(月) 春分の日
 23日(水) 4時間授業 給食最終 一斉下校
 24日(木) 卒業式(1～5年 臨時休業日)
 スクールカウンセラー(PM)
 25日(金) 修了式 3時間授業 一斉下校

※3月14日(月)～22日(火)は、5時間授業、一斉下校となります。

できることを工夫して

学年末を迎え、6年生の卒業に向けた取組を進めています。新型コロナウイルス感染症対策として、行事等を中止にするのではなく、感染防止策を工夫しながら、可能な限り実施しています。6年生にとっても、1～5年生にとっても、ともに関わり合っていく機会を保障していくことで今後の宮前小のよき伝統ともいえるべき雰囲気を大切にしていきたいと考えています。

(1) 2月22日 なかよしタイム 最終日

最後の遊びの時間を10分間のみ、マスク着用、6年生から最後のメッセージと、5年生から感謝の言葉、なかよし班全員から6年生へお礼の言葉を伝えるセレモニーを行い、残りの時間を、手洗いと消毒の時間として確保して実施しました。特に、低学年の子どもたちのうれしそうな顔と、6年生の優しい顔とが見られたことに大きな価値があったと思っています。

(2) 3月4日 6年生を送る会

各学年の6年生に向けた催し物を、動画撮影し、各教室で参観します。それぞれ教室で練習、準備し、学年で合わせる機会を可能な限り減らし、撮影するのはほぼ一回で行いました。また、全校合唱「マイ バラード」を各学級やパートごとの少人数で撮影、録音し、合成する方法で、全児童、教職員で取り組みました。6年生に、みんなの思いが届くといいなと思っています。

<宮前小開校150年 実行委員会報告> 第3回(2月17日)

協議事項1 記念行事実施日について ⇒令和4年9月16日(金)に決定

協議事項2 記念行事実施にともなう業者選定 ①ひまわり空撮

②国際総合企画(株) 実績:月の輪小10周年

③(株)スカイネクスト 実績:宮前小120周年
 福田小150周年

⇒②国際総合企画(株)に決定

本の紹介！
 今回は校長です。

「夜のピクニック」 恩田 陸 著

全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」という北高の伝統行事。登場人物の高校生の心情の揺れ動きに心がきゅっとなったり、風景描写に、まるで自分が一緒に歩いているかのような錯覚を感じたりしました。

本屋大賞受賞作！の帯にひかれ、手に取った一冊です。以来、恩田陸さんの本や、本屋大賞ノミネート作品に手を伸ばすようになりました。恩田さん2回目の受賞作「蜂蜜と遠雷」も好きな本です。

この一年、学年だよりも含め、多くの本を紹介してきました。いかがでしたか。大人が子どもたちに、読書をする姿を見せること、本の話をする事、この二つがとても大切だと思っています。

